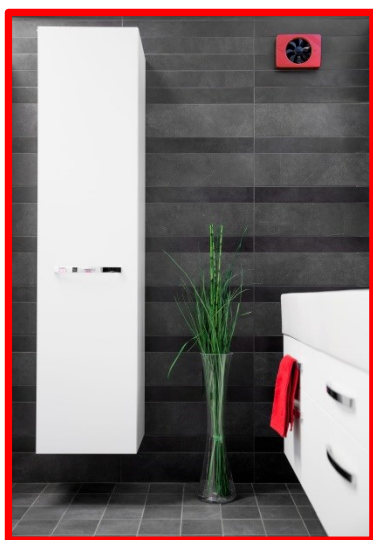


インテリヴェント 2.0 施工要領書







インテリヴェント®をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全にご使用いただくため、本説明書は常に確認できる場所に保管をお願いいたします。

施工上の注意

◆安全に取り付けを行うために以下の項目をお守りください。

- 取り付けを行う前に、必ず施工手順をお読みください。
- 取り付けの際は必ず電源を切ってから行ってください。
- 感電や火災などのトラブルの原因になりますので、施工中は水等をかけないでください。
- 落下やケガの原因になりますので、各種部品がしっかり取り付けられているか確認してください。
- 取り付け、接続、及び初回運転は有資格者以外の方は行わないでください。
- 機器やシステムの変更および改造はしないでください。
このシステムが問題なく安全に機能するには、適切な輸送・保管・取り付け・操作およびメンテナンスが前提条件となります。

	<p>警告</p> <p>この項目は、「死亡または重傷または物的損害などを負う可能性が想定される」内容です。</p>
 <p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流 100V を使用してください。 直流や交流 200V を使用すると感電や基板破損の原因となるおそれがあります。 ● お手入れの際は必ず運転を停止してください。 感電・けがの原因となるおそれがあります。 ● 異常時(こげ臭い等)は、運転を停止して分電盤ブレーカーを切ってください。 異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因となるおそれがあります。 ● お手入れの際は足元が不安定な台に乗らないでください。 転倒などによりけがの原因となるおそれがあります。
 <p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● お手入れの際は手袋を着用してください。 手袋を着用しないとけがの原因となるおそれがあります。 ● お手入れ後の部品の取り付けは確実に行ってください。 落下によりけがの原因となるおそれがあります。 ● 長期間使用しないときは、必ず分電盤ブレーカーを切ってください。 絶縁劣化により感電・漏電火災の原因となるおそれがあります。 ● 霧の多く発生する地域や異常に湿度の高い時は、製品から水が滴下するおそれがあります。 ● 高温や直接炎があたったり、油煙の多い場所では使用しないでください。 火災の原因となるおそれがあります。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 可燃性ガスが漏れた場合は、電源を「入」・「切」しないでください。 電気接点の火花により爆発する原因となるおそれがあります。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 改造や工具を必要とする分解はしないでください。 火災・感電・けがの原因となるおそれがあります。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転中は、物を入れないでください。けがの原因となるおそれがあります。

目次

1. パッケージ内容	1
2. 施工方法.....	1
3. 配線.....	2
4. プルコードスイッチの取り付け.....	3
5. 電源を入れる.....	3
6. 機能と特徴.....	4
7. 初期設定.....	5
8. 運転モードの LED 表示	5
9. 設定方法.....	6
10. 使用方法.....	8
11. プルコードスイッチの操作方法.....	8
12. 逆風フラップ (オプション)	9
13. プロペラの取り外し.....	10
14. 仕様.....	11

1. パッケージ内容

- 換気扇本体
- アダプター 2種 (①φ100用 ②φ125用 図1-1)
- 説明書 (日本語版・世界共通版)
- アダプター用パッキン (350mm×10mm×3mm厚)
- 部品用袋 (ネジ4本 プラグ4本 プルコード 絶縁チューブ)



図 1 - 1

2. 施工方法

インテリヴェントは天井か壁への取り付けが可能です。(図2-1)

ダクト径に合わせたアダプターをご利用ください。ダクトがφ100以下の場合などはアダプターなしでも取り付け可能な場合があります。

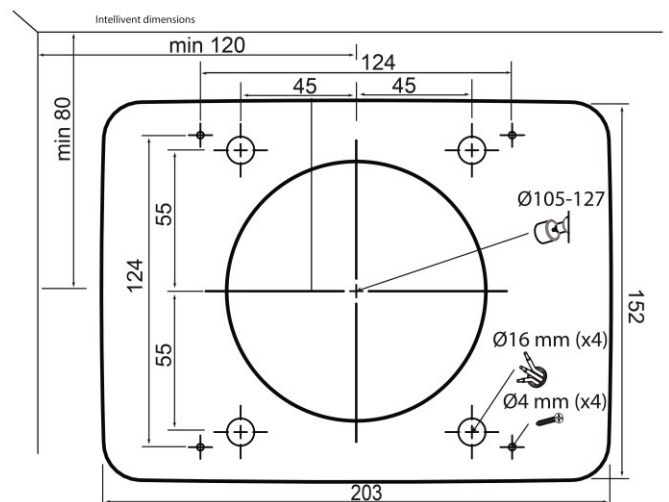


図 2 -

※換気扇本体を取り付ける際は湿気を含んだ空気が入り込まない様に、ダクトと壁、天井などの取合部を密閉してください。

必要に応じて同封のネジとプラグ、気密パッキンをご使用ください。100φ VU管を利用する場合は、アダプターとの間に2mm程の隙間ができます。本体アダプターに、同梱しているアダプター用パッキンでシールしてください。(右図)

パッキンはアダプター径に比べて若干長く設定されています。

カットせず図2-2のようにシールしてください。アダプター用パッキンは、止水及び気密性確保のために必ずお取り付けください。

125φ VU管の場合、気密パッキンが短いので、パッキンを2本平行に使用して気密を確保してください。

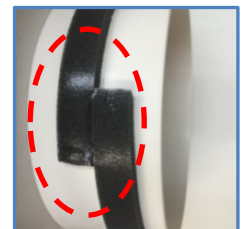


図 2 - 2

3. 配線

取り付けは資格を持った電気技術士が行ってください。

2重被覆した絶縁ケーブルをご使用ください。

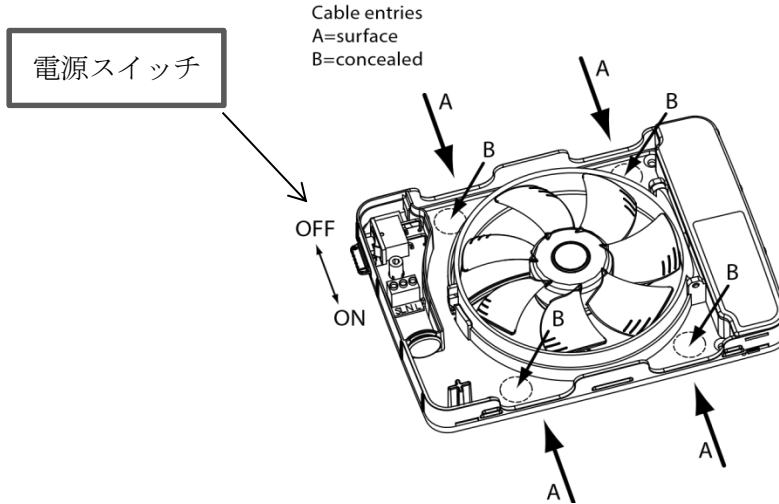


図3-1

- ① 本体左上にある電源スイッチを必ずオフにしてください。
- ② 配線は、図3-1のAから通すか、またはBから通すことが可能です。配線には付属の絶縁チューブをご利用ください。
- ③ Bはドライバー等で内側から裏に向けて穴を開けることが可能です。Aから通す場合は、カバーに穴を切り開ける必要があります。
その場合はニッパー等を使わず、棒ヤスリ等で行ってください。
- ④ 本体左上の電源ボックスのカバーを外し結線してください。

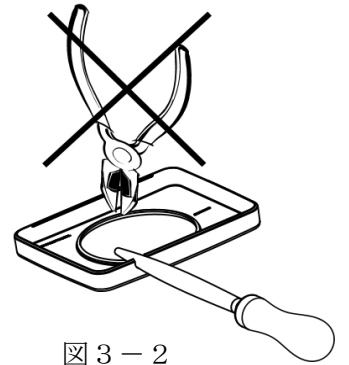


図3-2

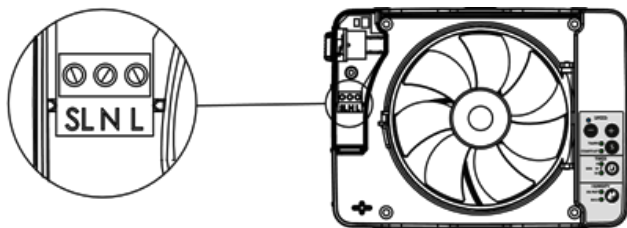


図3-3

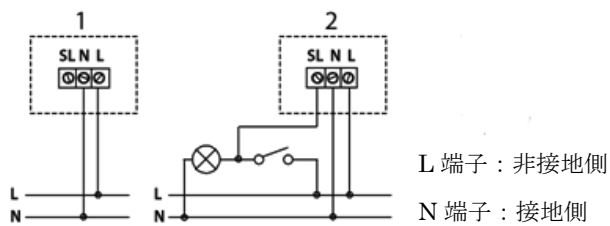


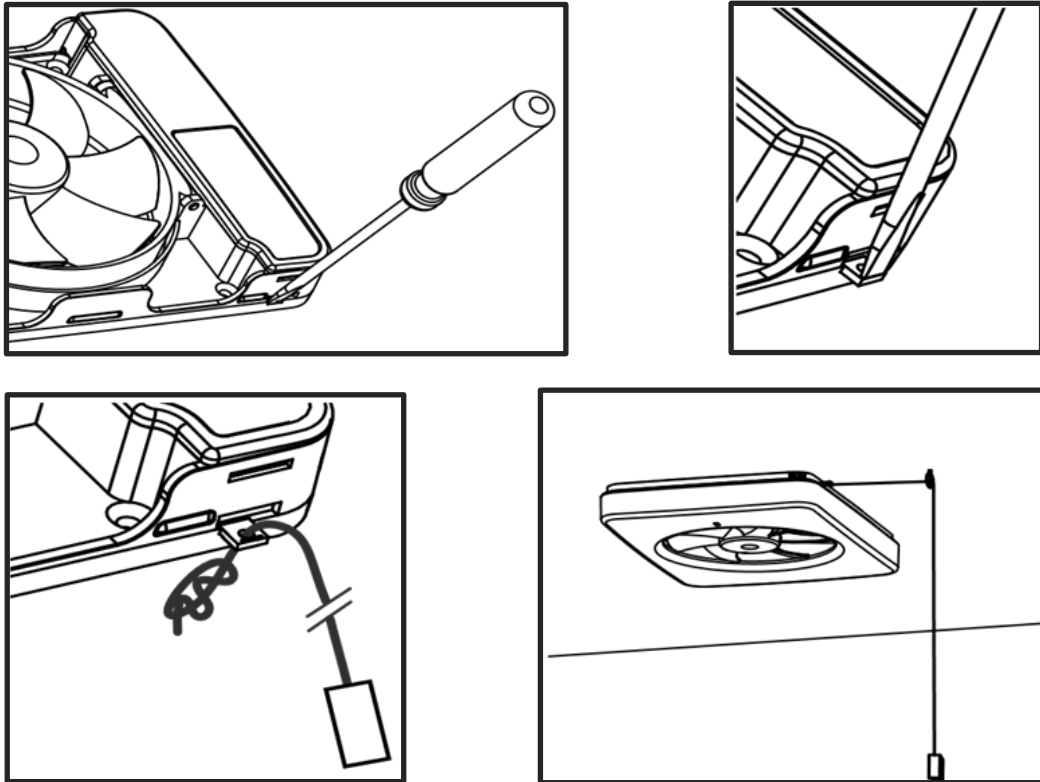
図3-4

1：湿度コントロール用配線

2：湿度コントロール+ライトスイッチ連動用配線

4. プルコードスイッチの取り付け

プルコードは手動でタイマーを作動させるか、ファンを休止させるために取り付けます。マイナスイドライバーを使ってスイッチの穴を取り出してください。



5. 電源を入れる

取り付けが完了したら、本体左上の電源スイッチを ON にしてください。(図5-1)
換気扇に通電されると、初めにテストモードになり、自動で基準湿度の計測を始めます。(青色 LED が点灯)

湿度の計測には数分から数十分かかることがあります。

計測完了後、LED が消灯し使用可能になります。



下が ON
上が OFF

図 5 - 1

6. 機能と特徴

各機能の設定は設定方法をご確認ください。

◆湿度コントロール機能

インテリヴェント 2.0 は常に内蔵センサーが湿度を計測し、基準湿度を記憶しています。湿度の変化があった場合、自動でモードを変更し湿気排出運転をします。

◆タイマー機能

停止時に換気扇を稼働させたい時は、5分,15分,30分の3パターンでタイマーを設定できます。3パターンの時間設定は操作パネルで行います。プルコードを引くとタイマーが作動します。これにより、一時的に空気を排出でき、時間が経つと自動で止まります。

◆スピードコントロール

通常運転時の風量は10段階で設定できます。

湿気排出運転時のスピードは2段階で設定できます。

◆常時換気モード (24時間換気)

24時間換気に対応し、スピードを10段階で設定できます。

◆一時換気モード

通常は停止状態で、湿度を感知した時と、タイマー作動時のみ稼働します。

常時換気を必要としない場合や熱交換換気システム「ヴェントサン®」等と併用する際はこのモードで使用してください。

◆自動換気機能

換気扇停止後、26時間経過すると、室内の空気や汚染物質の滞留を防ぐため、自動で60分間ファンが作動します。

◆一時停止機能

プルコードを2回引くことで、60分間運転を停止させることができます。

◆LED表示

3色のLEDランプが現在のモードをお知らせします。

◆長寿命モーター

インテリヴェントは、60,000時間耐用のモーターを使用しています。

7. 初期設定

- タイマー：5分
- 湿度コントロール運転：SILENT(風量 70%運転)
- タイマー運転：70%運転(72 m³/h)
- 24 時間換気：オフ

初期設定に戻すには、**S** ボタンを 5 秒間長押しします。

8. 運転モードの LED 表示

操作パネル上部の LED ランプで確認。

- 消灯 (CONSTANT 点灯 P.6 9.設定方法 ①)

24 時間換気 OFF：ファン停止

24 時間換気 ON：ファン連続運転中

- 青色点灯

湿度センサーが湿度を感知、排出。

- 青色点滅

基準湿度計測モード：湿度センサーが現在の基準湿度を計測しています。

湿度が大きく上下し基準湿度を再計測している際や、通電後に初期基準湿度を計測する際に点灯します。

ファンは湿度コントロールモードと同様の速度で運転します。

- 黄色点灯

タイマー運転中。設定時間を経過すると停止もしくは通常運転に戻ります。

- 黄色点滅

電灯スイッチと連動させる場合 (P.2 3.配線 図3-4 2：湿度コントロール+ライトスイッチ連動用配線) の遅延スタートのタイマー運転モードです。ファンがタイマー運転し始める前に 90 秒間点滅します。トイレなどに設置すると有効です。

- 紫色点灯

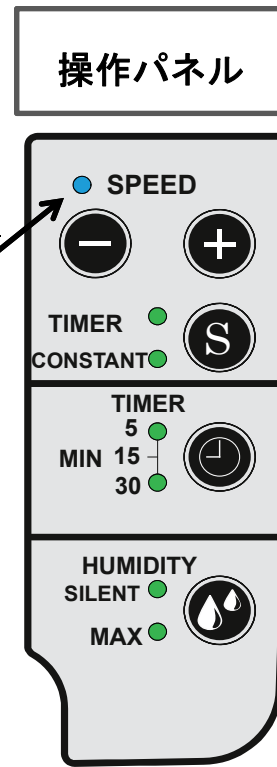
自動換気機能で 60 分間の自動運転中です。(P.4 6.機能と特徴)

- 黄色と青色が交互に点滅

プルコードを 2 回引いて一時停止機能が働いています。(P.4 6.機能と特徴)

- 黄色と青色が交互に素早く点滅

湿度変化の感知速度を設定中です。(P.8 9. 設定方法の<詳細設定>)



9. 設定方法

＜インテリヴェント 2.0 湿度感知型ファンの 24 時間換気 初期設定例＞


- 電源を入れる

- 24 時間換気風量設定

操作パネルの上部ボタン **S** を 1 回押して CONSTANT の緑ランプが点灯。
風量設定は必要ありません。

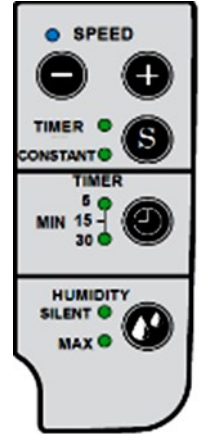
※CONSTANT の上部の TIMER ランプ点灯時は湿度反応時のみファンが回る設定です。
24 時間換気を行うために必ず CONSTANT を点灯させてください。

- 湿度反応時風量設定

操作パネルの下部ボタン  を 1 回押して MAX の緑ランプが点灯。

以上でインテリヴェント 2.0 の 24 時間換気:弱運転、湿度反応時:強運転になりました。

※中央部 TIMER の設定は必要ありません。



インテリヴェントは必要に応じて操作パネルで設定を変更することが出来ます。

① 換気モードの設定: **S** ボタン

常時換気 (24 時間換気)

S ボタンを押して「CONSTANT」を点灯させてください。

一時換気・局所換気 (ヴェントサン®と併用する場合等)

S ボタンを押して「TIMER」を点灯させてください。

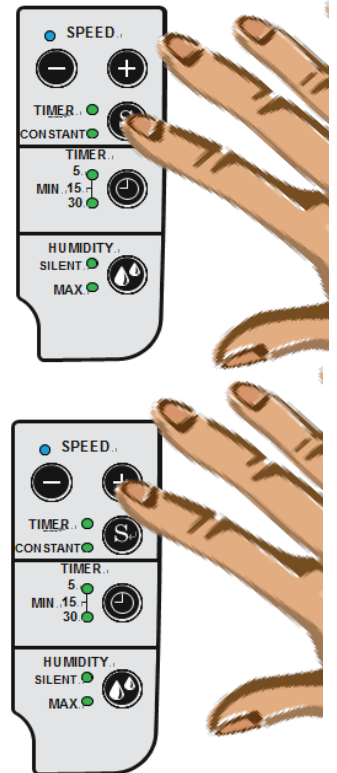
温気学習モードや自動換気機能の時 (温気の異常上昇を感知、トイレのスイッチを入れた時) に稼動、または設定の風量で稼動します。

② 風量設定


常時換気時、タイマー運転時の速度設定

操作パネルの上部 **+** **-** ボタンで速度の設定を行います。
10 段階の速度調整が可能です。

(ボタンは短く繰り返し押してください。)

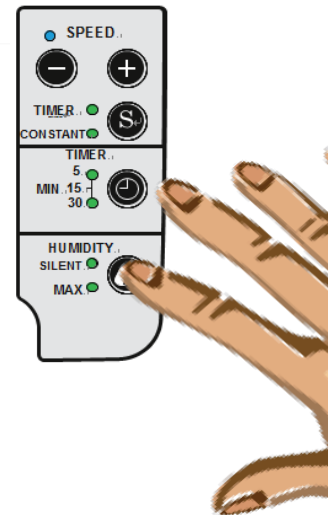


③ 湿度排出運転時の風量設定


操作パネルの  ボタンを押して選択します。

「SILENT」点灯：最大風量の70%で運転

「MAX」点灯：最大風量で運転



タイマー運転の時間設定

操作パネル中央の  ボタンで

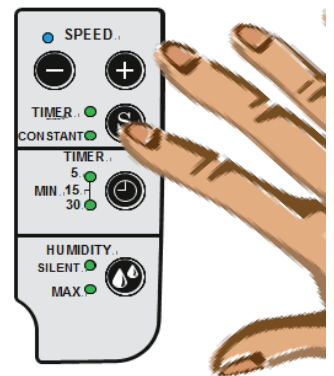
タイマー時間を5分,15分,30分の3段階から選択できます。

タイマー5分 : 5 が点灯

タイマー15分 : 5,30 両方が点灯

タイマー30分 : 30 が点灯

以上で設定は終了です。



< 詳細設定 >

◎湿度学習モードの感度設定

湿度を感知する反応速度を設定することができます。

初期設定では湿度感知『普通』に設定されています。

感度を早く設定することで、湿度変化に機敏な反応をします。

感度を遅くすることで、少しの湿度変化の場合は稼働しません。


< 設定方法 >

右上図のように

操作パネルの  ボタンと  ボタンを同時に押す。

(青色と黄色が交互に点滅します。)

< 感度の選択 >

 ボタンを押して希望の感度に設定できます。

湿度感知 早い : 「SILENT」が点灯



湿度感知 普通 : 「MAX」が点滅

湿度感知 遅い : 「SILENT」「MAX」両方点灯

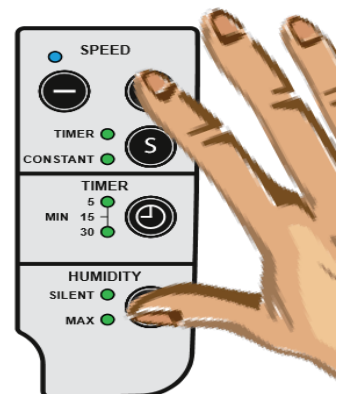
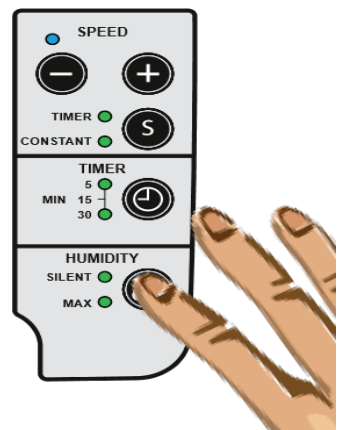
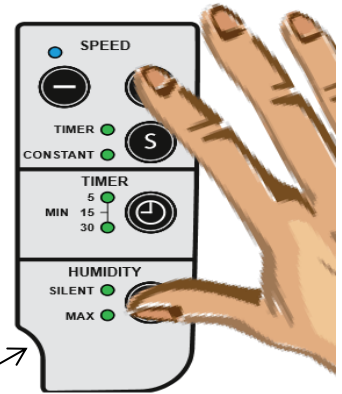
湿度感知 OFF : 両方消灯

< 感度の決定 >

再度右図のように

操作パネルの  ボタンと  ボタンを同時に押す。

(ランプは消灯します)



10. 使用方法

設定が完了すればインテリヴェント 2.0 は自動で運転します。

11. プルコードスイッチの操作方法

プルコードを引くことで手動運転と休止ができます。

1 回引く : タイマーモード(黄色点灯)

設定した速度で設定した時間 (5,15,30 分) 運転します。

2 回引く : 一時停止 (黄色と青色が交互に点滅)

60 分間ファンが停止します。

12. 逆風フラップ（オプション）

強い風の室内への侵入を防ぐためのフラップです。ファン停止時は中央部のフラップが閉まります。

間仕切り壁に取り付ける場合も、ファン停止時の空気の移動を抑制します。

<施工方法>

- ① スリーブとの間に隙間が出ないように、フラップの手前側と奥側 2 か所に付属のパッキンを巻きます。巻き方は本体アダプター(P1 2.施工方法)と同様です。

(下図 12-2 参照)

- ② 右写真のシールを上に向けて矢印方向に差し込みます。(下図 12-3 参照)

差し込むとフラップは閉まります。(下図 12-4 参照)

※上下を誤って挿入すると開きませんので、ご注意ください。

- ③ ファンが回ると風に押されてフラップは開きます。



図 12-1

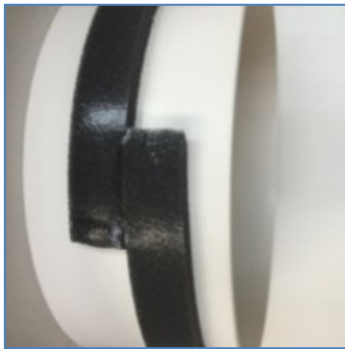


図 12-2

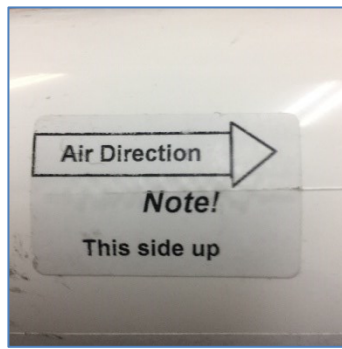


図 12-3



図 12-4

13. プロペラの取り外し

- ① 必ず電源スイッチを OFF にして換気扇を停止させてください。
- ② プロペラの中央部分を押しながら、プロペラを取り外してください。(図14-1)
- ③ プロペラの左側のつまみをつまんでプロペラ枠を手前に引くと、ダクト内を清掃できます。(図14-2)

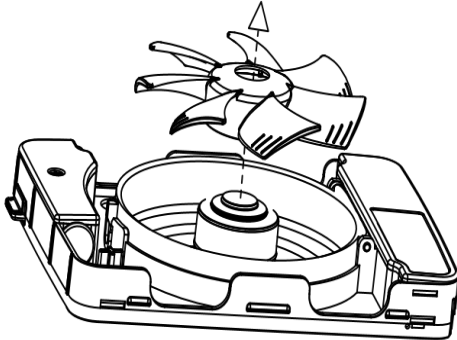


図14-1

片手の親指でプロペラの中央を押しながら、もう一方の手で羽根を持ってプロペラを外してください。

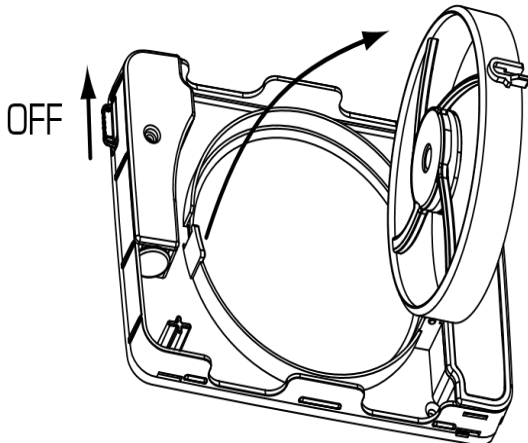


図14-2

本体左のクリップを外して、手前に引いてください。
戻す時は、つまみを少し下に押し、**カチッと音がするまで**確実にはめ込んでください。

- ④ つまみをカチッと音が鳴るまで確実にはめ込んでください。

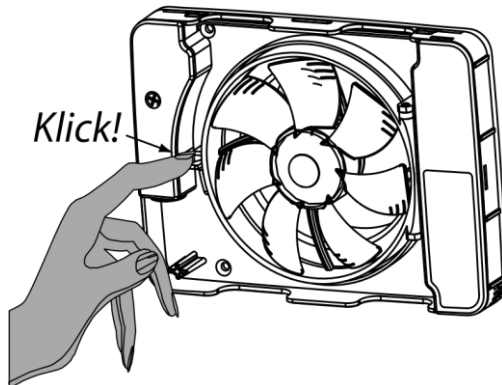


図14-3

- ⑤ プロペラの中心を持ってしっかりと取り付けてください。
- ⑥ 本体の電源 ON にしてください。
- ⑦ 換気扇がご希望の設定になっているか確認し、カバーを取り付けてください。

14. 仕様

風量及び騒音レベル

ダクト径	運転モード	風量	消費電力 【AC】	騒音レベル (3m地点)	騒音レベル (1m地点)
φ 98	MAX (100%)	107 m ³ /h	5.5W	28db(A)	45.5db(A)
φ 98	SILENT (70%)	74 m ³ /h	3.4W	21de(A)	38.5db(A)
φ 98	弱運転 (40%)	42 m ³ /h	2.1W	12db(A)	29.5db(A)
φ 118	MAX (100%)	134 m ³ /h	5.5W	29db(A)	46.5db(A)
φ 118	SILENT (70%)	86 m ³ /h	3.4W	21db(A)	38.5db(A)
φ 118	弱運転 (40%)	55 m ³ /h	2.1W	13db(A)	30.5db(A)

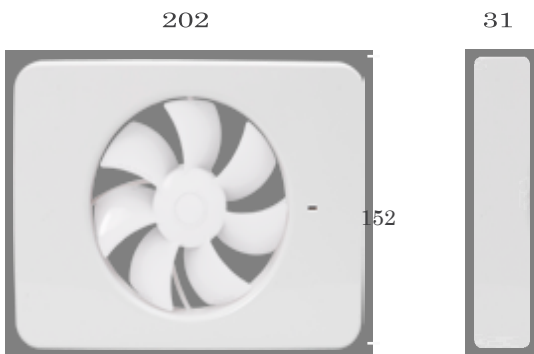
電圧	100V-240V
周波数	50-60Hz
重量	340g
材質	ABS 樹脂
試験機関	SP Sveriges Tekniska Forskningsinstitut
試験基準※ 1	DIN24163 / ISO5801 JISB8330 と同等
安全認証	Ⓢ ⒸⒺ Ⓜ

※ 1 試験基準は JISB8330 序文にて同等と明記されています。

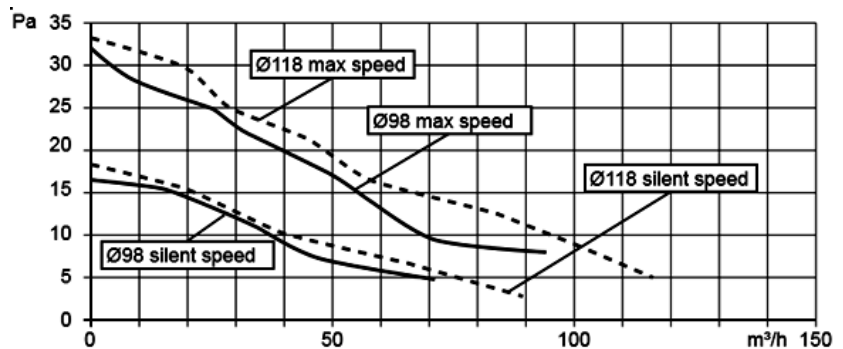
「序文 この規格の本体は、従来、日本工業規格で規定していた送風機の試験及び検査方法について規定し、附属書は、1997 年に第 1 版として発行された ISO 5801, Industrial fans-Performance testing using standardized airways を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格である。」

寸法

(高さ 152mm×幅 202mm×奥行 31mm)



P Q 線



- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 6 年です。
- **intellivent[®]**は **Volution Sweden AB** 社の登録商標です。
- 本書に記載されている内容はハード及びソフトウェアと一致しているか点検済みですが、内容に全く逸脱が無いわけではありませんので、完全な一致は保証いたしかねます。
また、本書は不定期に更新されます。更新された要領書は常に後続版で入手が可能です。
- この説明書はシステムの一部なので、常に手の届くところに保管しておいてください。
また、この要領書に記載されている安全規定はすべて遵守してください。

輸 入 元	 <p>エディフィス省エネテック株式会社</p> <p>〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-32-3 三鷹産業プラザアネックス 2 F TEL: 0422-26-6922 eFAX: 03-6740-1943 E-Mail: contact@edfs.co.jp https://edfs.co.jp/</p> 
販 売 店	

2022 年 2 月 1 日改訂